

下山健作先生寄贈のコメツキムシ類標本について¹⁾

大平仁夫²⁾・山内 智³⁾

On the Elaterid Beetles by Y. SHIMOYAMA (1909-1989) Preserved in the Collection of
the Aomori Prefectural Museum, Aomori Prefecture

Hitoo ÔHIRA and Satoshi YAMAUCHI

Key words : 青森県, 下山健作, 昆虫類, コメツキムシ科

はじめに

青森県立郷土館では調査研究事業として、主として青森県内の自然環境調査と平行して研究者からの支援を受けて資料の蒐集も積極的に行い、県内の自然環境の実体と自然史解明に努めてきた。

下山健作先生(1909-1989)は、明治 42(1909)年 5 月に青森県南津軽郡相馬村(現在：弘前市)に生まれ、平成 21(2009)年には生誕 100 年になる。生前には青森県立郷土館協議会委員・自然分野調査員、青森県昆虫同好会会長なども歴任され、それらの功績により青森県文化賞、青森県褒賞、勲五等双光旭日章を受賞されている。

また、生前は小・中学校に勤務しながら、昆虫類の生態や分布の解明に積極的に取り組まれ、フジミドリシジミやルリクワガタなどの生態の解明、県内のオサムシ類やカミキリムシ類やアナバチ類の分布目録など、多数の研究成果を発表されている。その他、観察記録や随筆なども含め 276 編にも及んでいる(山内, 2002)。

コメツキムシ類では、主として大平の協力を得て、県内の分布相の解明にあたり、白神岳産のシモヤマミヤマヒサゴコメツキ(*Homotechnes motschulskyi shimoyamai*)やホソシモフリコメツキ(*Actenicerus yamashitai*)なども発見されている。

下山先生が蒐集された標本資料は、生前から随時当博物館に寄贈されていたが、他界された後は遺族から文献類も含めて一括当館に寄贈された。ここではその資料の中のコメツキムシ類を整理した。標本に付されたラベル類は古くなっており、地名はローマ字で印字されていて、現在では地名が変わっているものが多いし、種によっては同一地名から多数の個体が採集月日を異にして蒐集されているものもあるので、ここでは同一地名で得られたものは、その中でもっとも古い採集月日の 1 例にとどめた。しかし、この記録によって下山先生が活躍されていた青森県内の古い時代の自然環境の一端を知ることがで

きると思われるし、先生の足跡をも偲ぶことができる。先生が蒐集された標本類の重要さが改めて認識できれば幸いである。

種の目録

1. *Tetrigus lewisi* Candèze, 1873

オオクシヒゲコメツキ

標本: 1 ♀, Towada (平川市十和田山地), 4-VIII-1956; 1 ♂, Kuzukawa (平川市葛川), 29-VII-1960; 1 ♂, Aoshikayama (深浦町青鹿山), 9-VIII-1974.

北海道(主として札幌市周辺)と本州から琉球列島、台湾、南西アジア地域まで広く分布する種である。青森県からは大平・下山(1984)が酸ヶ湯から 1 雄(25-VIII-1973)を記録したのが最初である。

2. *Lacon (Alaotypus) maeklinii* (Candèze, 1865)

オオサビコメツキ

標本: 1 ♀, R. Oirase (深浦町追良瀬川), 10-VIII-1973. 森林性の種である。青森県内では中條・大平(1965)が葛川と十和田から記録したのが最初である。

3. *Agrypnus (Agrypnus) binodulus binodulus* (Motschulsky, 1861) サビキコリ

標本: 1 ex., kuzukawa (平川市葛川), 13-VII-1955; 1 ex., Aoni (黒石市青荷), 15-VI-1959; 1 ♂ 1 ♀, R. Oirase (深浦町追良瀬川), 13-VI-1975.

各地の農耕地や雑木林に普通の種である。青森県からは中根(1958)が下北半島から記録している。

4. *Agrypnus (Agrypnus) cordicollis* (Candèze, 1865)

ムナビロサビキコリ

標本: 3 exs., Kuzukawa (平川市葛川), 4-VI-1959; 1 ex., Aoni (黒石市青荷), 19-VII-1966; 1 ex., Yasute (平川市矢捨), 14-VI-1970; 1 ex., Araya (平川市新屋), 21-VII-1970; 1 ex., Oirase (深浦町追良瀬), 16-VI-1973.

前種と同様に各地に普通の種であるが、個体数はより

1) 下山健作コレクション収蔵目録(5)、青森県産昆虫類の分布に関する研究(65)

2) 自然科学研究機構・生理学研究所 名誉技官(〒444-3511 岡崎市舞木町狐山 6-4)

3) 青森県立郷土館 副参事(〒030-0802 青森市本町 2-8-14)

少なく、より山林性である。青森県からは中條・大平(1965)が葛川から記録したのが最初と思われる。

5. *Agrypnus (Colaulon) scrofa scrofa* (Candèze, 1873)

ヒメサビキコリ

標本：4exs., Okonoki (黒石市追子野木), 21-I-1973; 1ex., R.Oirase (深浦町追良瀬川), 18-VIII-1975; 6exs., Osaname-zawa (深浦町追良瀬川オサナメ沢), 29-IV-1983.

河川敷や荒れ地の地表部に生息する種である。青森県からは中條・大平(1965)が葛川から記録したのが最初である。

6. *Prodrasterius agnatus* (Candèze, 1873)

マダラチビコメツキ

標本：1ex., Kashiwagi (平川市柏木), 27-VII-1969; 1ex., Araya (平川市新屋), 7-VII-1972.

青森県では個体数が少ない。青森県からは下山ほか(1982)が小泊から記録したのが最初と思われる。

7. *Anostirus (Anostirus) castaneus japonicus* Kishii et Ôhira, 1956 ツマグロヒラタコメツキ (図1, A)

標本：1♀, Kuzukawa (平川市葛川), 6-V-1982; 1♀, Nurukawa (平川市温川), 2-VI-1956; 1♂ 2♀♀, Kobokutai (平川市小木平), 19-VI-1959; 1♀, Towada (平川市十和田山地), 3-VI-1960; 2♂♂ 1♀, Yasute (平川市矢捨), 6-V-

1982.

寒冷地系を代表する種で、原名亜種は旧大陸に広く分布している。体長は9~10mm内外。体は黒色で上翅は末端部を除いて黄橙色を呈する。青森県の成虫の生態は下山(1979)が報告しており、成虫はミズナラやケヤキの新芽に飛来するとしている。また、尾崎(1995)は雌は広葉樹の伐採木や土場にも飛来するとしている。幼虫は捕食性で朽ち木の根株に入るといわれているが、日本産では幼虫は見出されていない。その他、成虫の形態は大平・

山内(1995)が平賀町矢捨山産の個体を報告している。

8. *Anostirus (Ipostirus) daimio* (Lewis, 1894)

ダイミョウヒラタコメツキ (図1, B)

標本：1♂, Yasute (平川市矢捨), 6-V-1932; 1♀, Kuzukawa (平川市葛川), 30-V-1957; 1♀, Towada (平川市十和田山地), 18-VI-1963; 2♀♀, Juniko (深浦町十二湖), 21-VI-1964; 1♀, Sukayu (青森市酸ヶ湯), 11-VII-1968; 1♀, Nurukawa (平川市温川), 30-V-1971; 1♀, Mt. Iwakisan (弘前市岩木山), 29-V-1975; 1♂, Kanita-machi (外ヶ浜町蟹田), 10-VI-1978; 1♂ 1♀, R. Oirase (深浦町追良瀬川), 21-VI-1964; 1♂, Araya (平川市新屋), 6-V-1982.

本種も寒冷地系の種であるが、青森県では前種と異なっていて個体数が多い。

9. *Corymbitodes gratus* (Lewis, 1894)

ドウガネヒラタコメツキ

標本：1♀, Towada (平川市十和田山地), 7-VI-1958; 1♀, Juniko (深浦町十二湖), 21-VI-1964; 1♀, Nurukawa (平川市温川), 30-V-1965; 2♂♂, Yasute (平川市矢捨), 29-IV-1978; 1♂, Kanitamachi (外ヶ浜町蟹田), 10-VI-1978; 1♂ 1♀, Okawara (黒石市大川原), 27-V-1979.

北海道から九州の山林に広く分布する種で、大平・下山(1990)は成虫はアマニュウの花やミズナラの新芽に飛来することを記録している。

10. *Corymbitodes nikkoensis* (Jakobson, 1913)

ベニホソヒラタコメツキ

標本：1♀, Aoni (黒石市青荷), 23-V-1965; 1♀, Kodomari (中泊町小泊), 26-V-1974; 1♀, Nurukawa (平川市温川), 13-V-1975; 2♀♀, Takinomata (平川市滝ノ股), 7-VI-1981.

体長は10~12mm内外、上翅が赤褐色をした美麗種である。青森県では各地に分布しており、尾崎(1995)はカエデ類の花上、ミズキやケヤキの生葉などで見出されるとしている。

11. *Acteniceromorphus niponensis* Ôhira, 1973

ニホンフトヒラタコメツキ

標本：1♀, Juniko (深浦町十二湖), 21-VI-1964; 1♂, R. Oirase (深浦町追良瀬川), 13-VI-1975.

山地性で、主として本州の中部地方から東北地方の山岳地帯に分布している。青森県からは大平・下山(1984)が追良瀬から記録したのが最初と思われる。

12. *Selatosomus puncticollis* Motschulsky, 1866

コガネコメツキ (図2, A)

標本：2exs., Mt. Iwakisan (弘前市岩木山), 27-VI-1985.

寒冷地に分布する代表的な種で、北海道全域や旧大陸の極東域にも分布している。本州では主として中部以北の高山帯に分布し、青森県では岩木山の山頂部が唯一の産地となっている。岩木山の本種については櫛田(1990)の報告がある。

13. *Actenicerus pruinus* Motschulsky, 1861

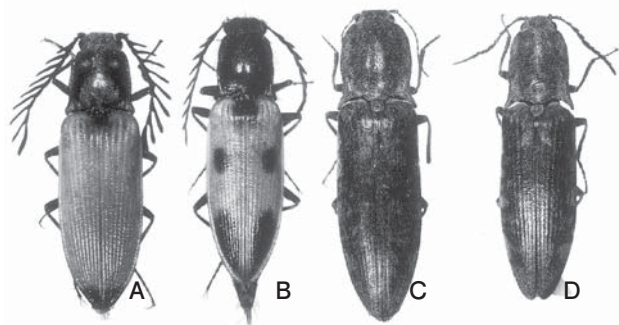


図1. A, ツマグロヒラタコメツキ (*Anostirus castaneus japonicus*), ♂, 体長9mm (平川市葛川, 6-V-1982); B, ダイミョウヒラタコメツキ (*Anostirus daimio*), ♂, 体長8.5mm (平川市矢捨, 6-V-1982); C, シモフリコメツキ (*Actenicerus pruinus*), ♀, 体長15mm (平川市葛川, 1-VI-1958); D, ホソシモフリコメツキ (*Actenicerus yamashitai*), ♂, 体長14mm (平川市十和田山地, 30-V-1959).

シモフリコメツキ (図 1, C)

標本: 1 ♂, Kuzukawa (平川市葛川), 29-IV-1996; 1 ♀, Nurukawa (平川市温川), 24-V-1970; 1 ♂, Okawara (黒石市大川原), 27-V-1979.

山地の草地や牧草地周縁の灌木類に多い種である。類似種が多いので識別は簡単ではないが、青森県に分布する種については大平・下山(1989)が報告している。

14. *Actenicerus yamashitai* Ôhira, 1968

ホソシモフリコメツキ (図 1, D)

標本: 2 ♂♂, Nurukawa (平川市温川), 27-V-1931; 1 ♂, 1 ♀, Towada (平川市十和田山地), 30-V-1959; 1 ♂, Aoni (黒石市青荷), 28-VI-1981; 1 ♂, Osaname-Zawa (深浦町追良瀬川オサナメ沢), 29-IV-1983.

本種の一般形態は前種に類似しているが、体はより細長く、両側は平行状である。本種は葛川産の個体に基づいて Ôhira(1968)が新種として記載したが、のちに *A. kiashianus* (Miwa, 1968) キアシシモフリコメツキと同種として扱われた。しかし、最近では再び別種として扱われている。本種の分類上の扱いについては、今後さらに詳しい検討が必要なので、ここでは上記種として記録するにとどめる。

15. *Denticollis nipponensis nipponensis* Ôhira, 1993

ベニコメツキ

標本: 1 ♀, Nurukawa (平川市温川), 31-V-1927; 1 ♀, Towada (平川市十和田山地), 18-VI-1963; 1 ♀, Yasute (平川市矢捨), 3-VI-1970; 1 ♂, Araya (平川市新屋), 3-VI-1973; 1 ♀, Kanitamachi (外ヶ浜町蟹田), 10-VI-1978.

本州、四国、九州の山林に広く分布している。体はやや扁平状で、上翅は赤褐色を呈する美麗種である。北海道産は別亜種とされている。

16. *Hemicrepidius (Pseudathous) secessus secessus* (Candèze, 1873) クロツヤハダコメツキ

標本: 1 ♂, Yasute (平川市矢捨), 4-VII-1965; 1 ♀,

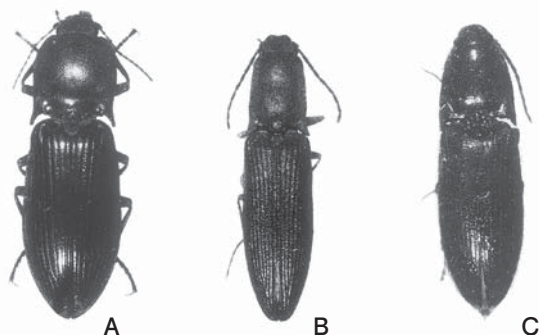


図2. A, コガネコメツキ (*Selatosomus puncticollis*), ♀, 体長14.5mm (弘前市岩木山, 27-VI-1985); B, カタモンホソコメツキ (*Athousius humeralis*), ♂, 体長13mm (平川市矢捨, 27-VIII-1965); C, クロアシブトコメツキ (*Podeonus mus*), ♀, 体長7.5mm (平川市十和田山地, 7-VI-1958).

Sukayu (青森市酸湯), 7-VIII-1973; 1 ♀, Dake (弘前市岳), 29-VII-1980.

本州、四国、九州の各地の雑木林に広く分布する普通種である。

17. *Hemicrepidius (Miwacrepidius) subcyaneus*

(Motschulsky, 1866) ルリツヤハダコメツキ

標本: 2 ♀♀, Lake Juniko (深浦町十二湖), 17-VIII-1964; 1 ♀, Yasute (平川市矢捨), 21-VII-1968; 1 ♀, R. Oirase (深浦町追良瀬川), 18-VIII-1975; 1 ♀, Dake (弘前市岳), 27-VII-1980.

体は黒色で青藍色の光沢を有する。北海道から九州までの各地の山林帯に分布しているが、山林の荒廃で個体数が減少しており、里山周辺では見られなくなっている所が多い。

18. *Athousius humeralis* (Miwa, 1927)

カタモンホソコメツキ (図 2, B)

標本: 1 ♂, Yasute (平川市矢捨), 27-VII-1965; 2 ♂♂, Araya (平川市新屋), 10-VIII-1973.

Miwa (1927) が十和田から新種として記載し、青森県が原産地になっている。現在では本州から九州の雑木山林に分布している。青森県産の成虫の詳しい形態は大平・下山(1990)が報告している。

19. *Podeonus mus* (Lewis, 1894)

クロアシブトコメツキ (図 2, C)

標本: 1 ♀, Towada (平川市十和田山地), 7-VI-1958.

本州から九州まで広く分布しているが、東北地方では個体数が少なく、青森県では中條・大平(1965)が温川(4-VI-1958, 30-V-1960)から下山先生が採集のそれぞれ1個体と、尾崎(1995)による矢捨山(8-V-1988)からの1個体の記録があるのみである。この十和田山地からの記録は、県内ではもっとも早く記録された個体である。

20. *Gamepenthès versipellis* (Lewis, 1894)

メスアカキマダラコメツキ

標本: 2 ♂♂, Juniko (深浦町十二湖), 16-VIII-1964; 1 ♂, Oirase (深浦町追良瀬川), 12-VIII-1973; 1 ♂, Aoshikayama (深浦町青鹿山), 9-VIII-1974; 1 ♀, Kodomari (中泊町小泊), 25-VII-1975; 1 ♀, R. Akaishi (鯹ヶ沢町赤石川), 27-VII-1977; 6 ♂♂, Kawauchi (むつ市川内), 25-VII-1984.

北海道から九州にかけての山林に広く分布する種で、成虫はノリウツギなどの花上で見出される。

21. *Gamepenthès pictipennis* (Lewis, 1894)

キマダラコメツキ

標本: 1 ♀, Juniko (深浦町十二湖), 14-VIII-1965; 1 ♀, Ranganmori (鯹ヶ沢町乱岩森), 26-VIII-1977.

一般外形は前種に類似しているが、個体数は多くなく、前胸背板の後角部が黄色をしている。青森県からは古く Miwa (1934) が十和田湖畔から最初に記録(20-VII-1927)している。

22. *Hayekpenthès pallidus* (Lewis, 1894)

ホソキコメツキ

標本：1 ♂ 1 ♀, Juniko (深浦町十二湖), 15-VIII-1965; 1 ♀, Kodomari (中泊町小泊), 25-VII-1975.

広葉樹林性の種で、本州から九州にかけて広く分布しているが、東北地方では個体数が少ない。青森県からは1982年に下北半島の大間町奥戸から記録されたのが最初である。

23. *Agaripenthes helvolus* (Candèze, 1873)

ヒメホソキコメツキ

標本：5exs., Juniko (深浦町十二湖), 17-VIII-1964; 2exs., Yasute (平川市矢捨), 30-VII-1965; 2 ♀ ♀, Kawauchi (むつ市川内), 25-VII-1984.

前種と同様に広葉樹林に分布、成虫は灯火に飛来し山林の花上でも見出されるが、個体数は多くない。

24. *Ampedus (Parelater) puniceus* (Lewis, 1879)

ハネビロアカコメツキ (図3, A)

標本：1 ♂, Kuzukawa (平川市葛川), 27-V-1961; 1 ♂, Nakasato-machi (中泊町中里), 3-IV-1966; 2 ♂ ♂, Yasute (平川市矢捨), 12-V-1975; 4 ♂ ♂ 3 ♀ ♀, Takeda (中泊町竹田), 11-V-1980.

寒地系で上翅が朱赤色をした種で、青森県がタイプ標本の基準産地になっている。樋口・丸屋(1994)は、弘前市内でクロマツの倒木の樹皮下で越冬中の成虫を多く見出しているが、幼虫は広葉樹の朽ち木にも入る。成虫の詳しい形態は大平・下山(1987)が報告している。

25. *Ampedus (Ampedus) optabilis optabilis* (Lewis, 1894)

オオアカコメツキ

標本：1 ♀, Towada (平川市十和田山地), 7-VI-1958; 1 ♂, Yasute (平川市矢捨), 18-XI-1962; 1 ♀, Araya (平川市新屋), 18-XI-1972.

体長が13~14mmで黒色、上翅が赤褐色で前胸背板が

ややオパール色の光彩を有するよく知られた種である。

26. *Ampedus (Ampedus) azurescens scutellaris* (Lewis, 1894)
セダカアカコメツキ (図3, B)

標本：1 ♂, Mt. Iwaki-san (弘前市岩木山), 27-V-1981. 中條・大平(1965)にセダカアカコメツキ(*A. scutellaris*)として葛川、十和田、大木平から記録しているが、現在では上記の学名で扱われている。本種の名産地は北海道に分布している。

27. *Ampedus (Ampedus) towadensis* Kishii, 1987

トワダアカコメツキ (図3, D)

標本：1 ♀, Towada (平川市十和田山地), 7-VI-1958.

Kishii(1987)が十和田山地で馬場金太郎先生が、1956年8月10日に採集した1 ♀個体に基づいて新種として記載した。上翅と肢が赤褐色をした体長12mm内外の種である。原記載以降に大平・山内(1991)が下北半島のむつ市屏風山と大平・山内(2005)が十和田山地から記録し図示している。

28. *Ampedus (Ampedus) sanguinolentus nippon* Kishii, 1982
クロモンアカコメツキ

標本：1 ♀, Takeda (中泊町竹田), 13-V-1979.

北海道と本州の東北地方(青森県と岩手県)から分布記録のある上翅が赤褐色、会合線部が幅広く黒色(これには変異がある)した体長10mm内外の種である。青森県産の成虫の形態は大平・下山(1987)が図示している。

29. *Ampedus (Ampedus) convexicollis* (Lewis, 1894)

ムネダカアカコメツキ (図3, C)

標本：1ex., Takinomata (平川市滝ノ股), 7-VI-1981.

体長9mm内外。上翅は暗褐色をした種で、最初に栃木県日光から新種として記載された。青森県は青荷と下北半島屏風山から知られているのみである。

30. *Ampedus (Ampedus) hypogastricus hypogastricus* (Candèze, 1873) アカハラクロコメツキ

標本：2 ♂ ♂, Yasute (平川市矢捨), 18-XI-1962.

幼虫は松の朽ち木に入る。各地に広く分布するが、ここでは矢捨の採集個体が保存されているのみである。

31. *Ampedus (Ampedus) vestitus* (Lewis, 1894)

ケブカクロコメツキ

標本：4exs., Nurukawa (平川市温川), 23-X-1930.

体長12mm内外で黒色、褐色の体毛を生じた種で、本州、四国、九州の広葉雑木林に分布している。

32. *Ampedus (Ampedus) aureovestitus aureovestitus* Kishii, 1966 ケブカコクロコメツキ

標本：2 ♂ ♂ 1 ♀, Towada (平川市十和田山地), 7-VI-1985.

体長は8~9mm内外の黒色の種で、青森県からは大平・山内(2003)が下北半島の個体の形態を図示している。

33. *Ampedus (Ampedus) tenuistriatus* (Lewis, 1894)

ホソクロコメツキ

標本：1 ♂, Towada (平川市十和田山地), 7-VI-1958.

体長9mm内外の細長い種で、本州、四国、九州の山

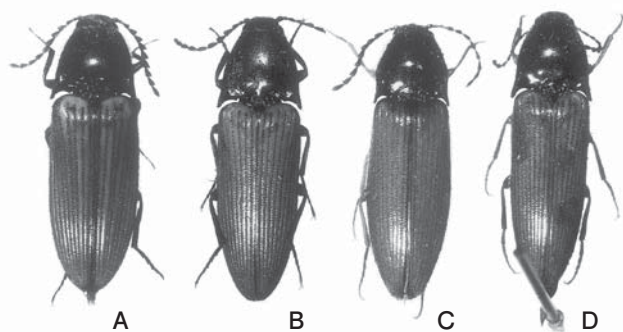


図3. A, ハネビロアカコメツキ(*Ampedus puniceus*), ♀, 体長14.5mm (中泊町中里, 9-V-1982); B, セダカアカコメツキ(*Ampedus azurescens scutellaris*), ♂, 体長14.5mm (弘前市岩木山, 27-V-1981); C, ムネダカアカコメツキ(*Ampedus convexicollis*), ♀, 体長8mm (平川市滝ノ股, 7-VI-1981); D, トワダアカコメツキ(*Ampedus towadensis*), ♀, 体長10.5mm (平川市十和田山地, 24-VI-1980).

地の雑木林に広く分布している。

34. *Elater nipponensis* (Lewis, 1894)

オオクロナガコメツキ

標本：1 ♂ 2 ♀♀, Towada (平川市十和田山地), 6-VIII-1955; 1 ♂, Hiraka-machi (平川市平賀), 10-VIII-1956.

本州から九州の山林帯に広く分布する, 体長 22~25mm の黒色の種である。青森県からは中條・大平(1965)が葛川から記録したのが最初である。

35. *Vuilletus crebrepunctatus* (Nakane, 1959)

オオミドリヒメコメツキ

標本：1 ♀, Towada (平川市十和田山地), 18-VI-1963; 1 ♀, R. Oirase (深浦町追良瀬川), 16-VI-1973.

青森県からは下山ほか(1989)が赤石川流域から記録したのが最初と思われる。ここでは個体数が少ない。

36. *Vuilletus viridis viridis* (Lewis, 1894)

ミドリヒメコメツキ

標本：1 ♂, Towada (平川市十和田山地), 1-VI-1957.

前種と同様に雑木林の花上で見出されるが, 個体数は少ない。

37. *Dolerosomus gracilis* (Candèze, 1873)

キバネホソコメツキ

標本: 1 ♂ 1 ♀, Aoni (黒石市青荷), 15-V-1926; 1 ♀, Okidate (平川市沖館), 19-V-1970; 1 ♀, Juniko (深浦町十二湖), 21-VI-1970; 1 ♀, Nurukawa (平川市温川), 30-VI-1971; 1 ♀, R. Oirase (深浦町追良瀬川), 16-VI-1973; 1 ♂, Mt. Iwakisan (弘前市岩木山), 2 ♀♀, Noda (外ヶ浜町野田), 11-VI-1977.

北海道から九州の雑木林帯に広く分布しており, 成虫は花上で見出される。

38. *Ectinus nipponensis* Kishii, 1979

ニホンカバイロコメツキ

標本: 1ex., Nurukawa (平川市温川), 16-VI-1955; 1ex., Towada (平川市十和田山地), 14-VI-1964; 1ex., R. Oirase (深浦町追良瀬川), 13-VI-1975; 1ex., Shiuramura (五所川原市市浦), 21-VI-1980.

東北地方に広く分布する種であるとされているが, オオカバイロコメツキ(*E. longicollis*)と外形がきわめて類似しているので, 識別は簡単ではない(大平・山下:1988)。

39. *Ectinus higonius* (Lewis, 1894)

クロムナボソコメツキ

標本：1ex., Kobokutai (平川市小木平), 19-VI-1959; 5exs., Juniko (深浦町十二湖), 22-VI-1970; 8exs., R. Oirase (深浦町追良瀬川), 13-VI-1975.

北海道の一部と本州から九州にかけての各地の山林に分布している。大平・下山(1990)は青森県では成虫がハマニュウやイヌザクラの花に飛来するとしている。

40. *Ectinus exulatis* (Candèze, 1873)

ムナボソコメツキ

標本: 1ex., Juniko (深浦町十二湖), 22-VI-1970.

暖地系の種で, 東北地方では個体数が少なく, 青森県

からは数例の記録があるのみである。

41. *Ectinus insidiosus* (Lewis, 1894)

キアシムナボソコメツキ

標本：1ex., Yasute (平川市矢捨), 22-VI-1963; 2exs., Kuzukawa (平川市葛川), 16-VI-1965; 1ex., Towada (平川市十和田山地), 25-VI-1965; 2exs., Nurukawa (平川市温川), 16-VI-1967.

雑木林に分布する体長 7~8mm で黒色, 肢は黄褐色をした種である。

42. *Ectinus (Ectinoides) insignitus insignitus* (Lewis, 1894)

ヨツキボソコメツキ

標本：1ex., Araya (平川市新屋), 25-VI-1972.

体長は 6~7mm 内外。黒色で上翅に黄橙斑を有する種である。青森県からは下山ほか(1982)による津軽半島の小泊からの記録が最初である。

43. *Dalopius exilis* Kishii, 1956 ナガナカグロヒメコメツキ

標本：1 ♀, Towada (平川市十和田山地), 12-VI-1966; 1 ♀, Juniko (深浦町十二湖), 21-VI-1970.

主として本州の近畿地方から青森県の山岳地帯に分布する。体長が 5~6mm の小形種である。

44. *Dalopius miwai* Ôhira, 1972

ナカグロヒメコメツキ

標本：1ex., Towada (平川市十和田山地), 24-VI-1971; 1ex., Araya (平川市新屋), 7-VII-1972.

前種と同様に山岳地の山林に分布する種であるがより短大で, 上翅の会合線部の黒斑はより明瞭に生じている。

45. *Parasilesis musculus musculus* (Candèze, 1873)

クチブトコメツキ

標本：1ex., Yasute (平川市矢捨), 1-VII-1965; 2exs., Juniko (深浦町十二湖), 13-VIII-1965; 5exs., Araya (平川市新屋), 7-VII-1972; 3exs., Dake (弘前市岳), 14-VII-1974; 2exs., Nanatsutaki (中泊町小泊・七ツ滝), 26-VII-1975.

農耕地や牧草地のやや湿潤地に幼虫が生息しており, 幼虫は栽培植物の根茎に喰入することが知られている。

46. *Glyphonyx dalopoides* Nakane, 1958

クロスジクチボソコメツキ

標本：1ex., Araya (平川市新屋), 7-VII-1972.

河川敷の川沿いの土中に幼虫が生息しているので, 成虫もその周辺に多い。青森県からは中根(1958)による下北半島からの記録が最初である。幼虫は土壌中に生息している。

47. *Glyphonyx illepidius* Candèze, 1873

クチボソコメツキ

標本：1ex., Juniko (深浦町十二湖), 17-VIII-1964; 23exs., Nanatsutaki (中泊町小泊・七ツ滝), 26-VI-1975.

本種も河川敷の河川周辺に多い種である。個体数は前種より多い。

48. *Melanotus (Spheniscosomus) japonicus* Ôhira, 1974

ハネナガオオクシコメツキ

- 標本：1♂, Aoni (黒石市青荷), 28-VI-1963.
北海道南部地域から本州～九州の山林に分布している。青森県産の成虫の形態は大平・山内(1993)が報告している。
49. *Melanotus (Spheniscosomus) koikei* Kishii et Ôhira, 1956 ヒラタクシコメツキ
標本：1♂, Araya (平川市新屋), 6-V-1971.
本州から九州の各地の広葉樹の山林に分布する種である。
50. *Fleutiauxellus quadrillum* (Candèze, 1873)
ヨツモンミズギワコメツキ
標本：2exs., Okidate (平川市沖館), 1-VII-1963; 1ex., Yasute (平川市矢捨), 21-VII-1968; 1ex., Kashiwagi (平川市柏木), 25-VI-1967; 1ex., Sukayu (青森市酸ヶ湯), 11-VII-1968.
主として北海道から本州～四国の、河川敷や荒れ地の砂礫中やその地表部に生息する種である。
51. *Cardiophorus pinguis* Lewis, 1894
クロハナコメツキ
標本：2♀♀, Kuzukawa (平川市葛川), 13-VII-1955; 1♂, Nurukawa (平川市温川), 24-V-1970.
北海道の南端部、本州から九州の各地の雑木林に見出される種である。
52. *Paracardiophorus pullatus* (Candèze, 1873)
コハナコメツキ
標本：5exs., Kuzukawa (平川市葛川), 13-VII-1955; 5exs., Sasanaigawa (深浦町笹内川), 9-VIII-1978.
各地の荒地や河川敷の砂礫中やその周辺の地表部に分布する種である。
53. *Paracardiophorus sequens sequens* (Candèze, 1873)
アカアシコハナコメツキ
標本：1ex., Hirataki (つがる市平滝沼), 9-VIII-1967; 6exs., Kodomari (中泊町小泊), 23-VI-1973.
海浜の乾燥した砂地帯に分布する種である。津軽半島の外側の海岸線は、対馬暖流の影響を受けて、暖地系の種の北上が見られるが、本種もその例である。外形は前種に類似しているが、本種は肢が赤褐色～暗赤褐色をしている。
- 引用文献
中條道夫・大平仁夫, 1965. 下山健作氏採集の青森県産コメツキムシ科とハナコメツキムシ科. 香川大学芸学部研究報告 (第II部 132号): 1-32.
櫛田俊明, 1990. 岩木山のコガネコメツキについて. Tsugaru-kontyu, (51): 1.
樋口 誠・丸屋良博, 1994. ハネビロアカコメツキの集団越冬例. 月刊むし, (281): 34.
Kishii, T. 1987. Some new forms of Elateridae in Japan (XIX). Bull. Heian High School, Kyoto, (31): 1-20, 1pl.
Miwa, Y., 1927. Descriptions of New Species of Japanese Elateridae. Int. Mats., 2(1): 12-22.
———, 1934. The fauna of Elateridae in the Japanese Empire. Dept. Agr., Gov. Res. Inst. Formosa, (65): 289pp., 9plates.
中根猛彦, 1958. 下北半島に分布する甲虫 I. 資源科学研究所集報, 46-47: 83-92.
Ôhira, H., 1968. New or little-known Elateridae from Japan, XI. (Coleoptera). Bull. Japan Ent. Acad., 4(3): 9-12.
大平仁夫・下山健作, 1984. 青森県のコメツキムシ若干種について. 青森県立郷土館調査研究年報, (9): 53-61.
———・———, 1987. 青森県に産する2種の *Ampe-dus* 属のコメツキムシについて. 同上, (11): 77-81.
———・———, 1988. 青森県に産するニホンカバイロコメツキについて. 同上, (12): 61-67.
———・———, 1989. 青森県に産する *Actenicerus* 属のコメツキムシについて. 同上, (13): 43-55.
———・———, 1990. 青森県のコメツキムシ若干種について (II). 同上, (14): 61-75.
———・山内 智, 1991. 下北半島のコメツキムシについて. 同上, (17): 159-168.
———・———, 1993. 青森県のコメツキムシ若干種について (IV). 同上, (17): 159-168.
———・———, 1995. 青森県に分布するコメツキムシについて (IV). 同上, (10): 65-70.
———・———, 2003. 下北半島恐山周辺のコメツキムシ若干種 (続報). 青森自然誌研究, (8): 13-16.
———・———, 2005. 福田進氏採集の青森県のコメツキムシ類. 同上, (10): 65-70.
尾崎俊寛, 1995. 青森県に分布するコメツキムシについて (I). Cellastrina, (30): 37-72.
下山健作, 1979. ツマグロヒラタコメツキ♂の採集例. Elytra, Tokyo, 7(1): 15.
下山健作ほか, 1982. 津軽半島の自然, 6. 昆虫. 青森県立郷土館調査報告, 第12集, 自然: 107-153.
———, 1989. 赤石川流域自然調査概要 (3), 4. 昆虫. 青森県立郷土館調査研究年報, (13): 16-39.
山内 智, 2002. 下山健作先生著作目録. 青森自然誌研究通信, 28: 2-6.